



一万人的 ファイトを誓う

七月三十日午前、県内の市や郡の地区大会を勝ち抜いてきた中学生スポーツ選手約一万人が整列した前橋県営陸上競技場。第三十回という記念すべき県中学校総合体育大会は、大勢の観衆が見守る中、「ともに競い合った多くの仲間の夢とともに、青春のページに友情の文字を深く刻み込むため、正々堂々と競技することを誓います」と、榛中剣道部主将の川島礼子さん(十五区)が選手宣誓し、熱戦の火ぶたが切られました。(記事2〜3頁)


広報

1995年 **9** 月号 (No.293)

しんとう

主 内 容

夏の話から

榛中スポーツ編 2〜3ページ
 国際交流編 …… 4〜5ページ
 創造の森編 …… 6〜7ページ
 村のニュース …… 8〜9ページ
 代替バスのご案内 10〜11ページ
 各種の情報など …… 12〜15ページ
 こちら保健婦 …… 16ページ

榛中中学校
剣道部女子

全国大会で団体3位入賞

個人戦で川島選手 ベスト8入りを果たす



▲予戦リーグで三重県代表の東観中と対戦する南選手。全国大会出場を記念して新調した支度は後輩へ受け継がれます
▲個人戦で活躍する川島選手

剣道部女子

連続真夏日が猛暑の昨年とタイ記録となったことしの夏。榛中では、夏休みの間、各種スポーツで郡大会や全国大会への出場権を得た選手が延べ三十人に上りました。その中でも女子剣道部員は、団体で県大会二位、前橋市民体育館で行われた全国大会で見事三位に入賞、個人戦でも主将の川島選手が県大会で二位、全国大会で八強入りを果たすなど大活躍しました。このコーナーでは、熱戦を繰り広げて全国大会へ出場した皆さんの感想および関東大会や県大会の競技結果について紹介します。

あとも得意の面を決めながら勝ち進んで東海中（宮崎）の興梠舞選手（今大会の覇者）と準々決勝で対戦。コテを取られて負けはしたものの本県初の八強入りを果たし、団体戦でも活躍したことから優秀選手賞（斉村賞）受賞者十二人のうち本県受賞者は五人）に選ばれました。

一方、二十二日午後から始まった団体戦に出場した川島主将ほか六名（補員二名を含む）の女子剣道部員は、沖縄県と三重県の代表とそれぞれ対戦して予選リーグを突破。二十三日の準々決勝では、剣道王国といわれる九州勢の橘中（長崎）と対戦し、先鋒の堀込選手が勝利したものの、準決勝への決め手は大将戦までもつれこみ川



後列左から西川さん、一倉さん、川島さん、南さん。前列左から田野さん、堀込さん、岩田さん

島選手が面を二本決めて、その道を切り開きました。

準決勝では、昨年十二月に兵庫県で行われた若鷲旗大会で勝った相手の高千穂中（宮崎）／今大会優勝チーム）と対戦し、選手全員が善戦しましたが1-4という結果で惜敗。それでも見事三位に入賞するという大快挙を成し遂げて、本県の剣道界に輝かしい功績を残してくれました。

この快挙に三年生の選手らと顧問の荒木先生は、次の通り感想を

水泳 土屋選手が千五百円自由形で全国6位に

水泳では、郡大会の四百円と千五百円の自由形でそれぞれ準優勝した土屋智嗣くん（三年14区）と、二百円背泳ぎ三位の松井秀くん（二年9区）の二人が県大会へ出場。県大会では、勢いにのる土屋選手が四百円自由形で優勝、千五百円自由形で準優勝し全国大会への出場権を得ました。

土屋選手は、東京の辰巳国際水泳場で行われた全国大会でも、引率の先生や家族が見守る中、千五百円自由形の予選で、自己ベストタイムの16分53秒35を出して決勝

に進出。決勝でも16分55秒69を出して六位入賞という輝かしい功績を残してくれました。

水泳歴十年という土屋選手「写真一は、『春季大会のとき、千五百円が16分17秒台でしたが、激しい練習を積み重ねて、県大会でもいい記録を出すことができました。絶対のコンディションで臨んだ全国大会では、決勝より自己ベストを出せた予選の方がいい思い出です。決勝の六位でゴールした瞬間、スイミングのコーチや友だちの顔を思い浮かべていました」と、感想を語ってくれました。



関東大会や県大会などの結果から

●バレーボール（男子）
過去にも輝かしい成績をもつ榛中バレーボール部。この夏は男子が活躍して郡大会で優勝、県大会でも五年ぶり三回目の優勝を果たしました。

●卓球
男子と女子がそれぞれ活躍した卓球部。内海美加主将（三年13区）率いる女子卓球部は、郡大会で団

体優勝し、個人戦でもシングルスとダブルスで四選手が県大会へ出場。県大会では、団体が二回戦まで進出したほか、個人戦の四選手も善戦し、シングルスの関上文子選手（三年21区）がベスト16入りを果たしました。

男子卓球部は、郡大会の個人戦で四選手が活躍し県大会へ出場。県大会では、シングルスの越谷正幸選手（三年7区）がベスト10入りを果たしたあと、関東大会でも二回戦まで勝ち進み、後輩たちに立派な成績を残してくれました。

●サッカー
昨年十一月の県新人選大会で初

語ってくれました。

▼川島礼子さん（大将・三年15区）
「一番記憶に残っているのは高千穂戦です。5-0で負けはいやだと、全力で臨み勝ちましたが、試合後よくよく涙をこらえることができませんでした」。

▼一倉千恵さん（副将・三年13区）
「荒木先生から面だけを打てと指導され、春の大会から面だけで戦ってきました。それが自信になり、ここまで来られたと思います。思い出はたくさんあった練習かな」。

▼南千晴さん（中堅・三年13区）
「積み重ねてきたきびしい練習の成果を、全国大会で発揮できてよかった。中一から始めた剣道を三年間続けて、全国大会といういい

優勝したサッカー部。岩崎章広主将（三年8区）率いるイレブンは、この夏も大活躍し、郡大会で優勝、県大会で三位、八月下旬に行われた高円宮杯関東大会でも三位に入賞して、周囲の期待に大きく応えてくれました。

柔道（女子）

馬場典子主将（三年7区）率いる女子柔道は、郡大会で団体優勝し、県大会でも二回戦まで勝ち進みました。

個人戦では、郡大会で優勝した馬場典子選手が、県大会の中量級に出場し、見事三位入賞を果たして、後輩たちに励みになる成績を残してくれました。

思い出ができました」。

▼田野智子さん（次鋒・三年17区）
「私自信は、県大会のような調子が全国大会で出せなかったのがぐやしい。全国制覇を目標にしていたが、三位という順位でも感激しています」。

▼堀込幸子さん（先鋒・三年14区）
「予選リーグを勝ち抜いたときにこれはいけるぞと思いました。一番緊張したのは高千穂戦。その戦いで一本取られたときが一番記憶に残っています」。

▼西川和歌子さん（補員・三年20区）
「全国大会という、ひのき舞台で活躍するチームメイトを目の前で見て感動しました。予選リーグの三重県戦で5-0で勝ったとき

体操（男子）

生方涼太主将（三年18区）率いる男子体操部は、郡大会で団体優勝、県大会でも十二位に入り、新体操で活躍している先輩たちに朗報をもたらしてくれました。

ソフトテニス

郡大会個人戦のダブルスで準優勝した根本昇選手（三年14区）と笹澤和浩選手（三年17区）の組は、県大会でも善戦しました。

陸上

陸上の郡大会では、男子千五百円以下で真下哲選手（一年11区）と、女子砲丸投げで岡部芳選手（三年10区）がそれぞれ優勝して県大会へ出場したほか、次の皆さんが県

は本場にうれしかった」。

▼岩田千枝さん（マネージャー・三年2区）
「試合前の選手の調子が一番気掛かりでした。剣道部で過ごした三年間と、全国大会の経験、これからの人生に生かしていきたいと思っています」。

▼監督・荒木明雄先生
「うちは剣道歴八年の川島選手を除き、中学から剣道を始めた選手ばかり。開催地とはいえ公開抽選で際立った優遇措置もなく、その力で全国六千校ある剣道部の三位になったことで感激もひとしおです。きつい練習に生徒たちもよくついてきてくれました。応援してくれた村民の皆さんに感謝します」。

大会へ出場し健闘してくれました。（敬称略）

▼男子千五百円：小山敦史（二年8区）

▼男子百円：小野関龍洋（二年13区）

▼女子走り幅跳び：関朋子（三年20区）

▼女子四×百円リレー：石関久美子（三年12区）、岩田季実子（二年3区）、関朋子、近藤明佳（三年9区）、木村恵里（三年7区）、重光芳美（三年5区）

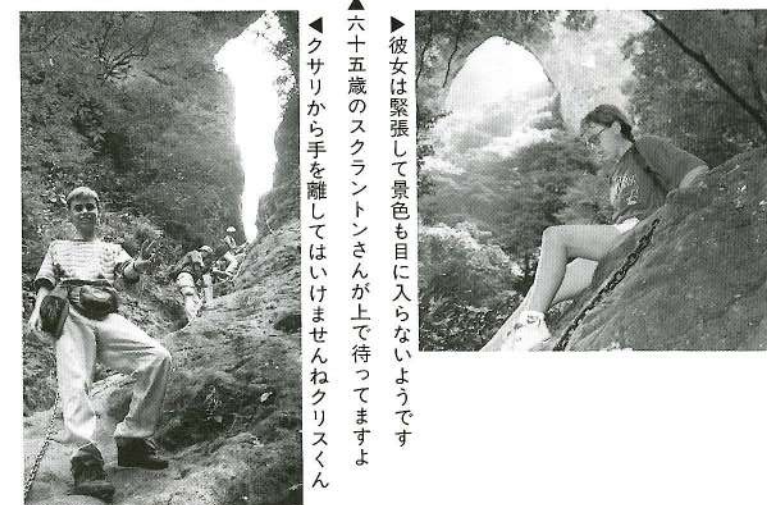
※中学校では、運動部のほか吹奏楽部が活躍し、県大会で見事金賞に入りました。

国際交流事業で来村したゲストと一緒に、野外活動や集団生活などで交流を図ろうと8月7日から二日間、県立妙義少年自然の家で行われた「イングリッシュ・サマーキャンプ」。8月9日、伝統文化などを通じて文化交流に役立てようといわれた恒例の「日米文化交流会」。国際交流事業から二つの話題をこのコーナーで紹介しましょう。

奇岩めぐりに挑戦

妙義山

イングリッシュ
サマーキャンプ



イングリッシュ・サマーキャンプに参加したのは、六十五歳のスクラントンさんをはじめとする来村中のゲスト六名とホストファミリーやホームステイ倶楽部の皆さんら三十名。八月七日の朝、自然の家に到着した一行は、早々に宿泊先のガイドを先頭に妙義山の奇岩をめぐる「石門めぐりコース」に挑戦しました。

一行が挑戦したコースは、登山道から一本杉(さくら)の里、五つの石門群を訪ねるもの。途中はクサリを使って岩を登る力所もあり、山がないジェネシオ町で暮らしているゲストたちは、この登山に大喜びで、写真を撮るのに夢中になり、周囲の人が心配する場面もあったとか。



夕食。このあと、川端さんが得意な手品を披露するなどして、食後も楽しく過ごしたそうです。

毛虫もベットにする米国。彼女たちが全然怖がらずに手虫をかわい



妙義少年自然の家の屋上で記念撮影する参加者の皆さん

日米文化交流会

音と技で交流

東方約一万五百年のなから訪れた米国イリノイ州ジェネシオ町などの皆さんを交えて日米文化交流会が、八月九日、南部コミュニティセンターにおいて開催されました。

上州名物の雷とともに始まったことしの交流会は、一番手のしんとうふるさと太鼓が、鳴り響く雷鳴と競演するかのよう、豪快なバチさばきを披露。演奏が終わると、ゲストらもバチを渡されて楽しそうに和太鼓を打ち鳴らす感触を味わっていました。



稲光をバックに豪快なバチさばきを披露するしんとうふるさと太鼓



親切に教えてくれるのはだれかな?



ふるさと太鼓代表の富沢七男造さん(17区)でした



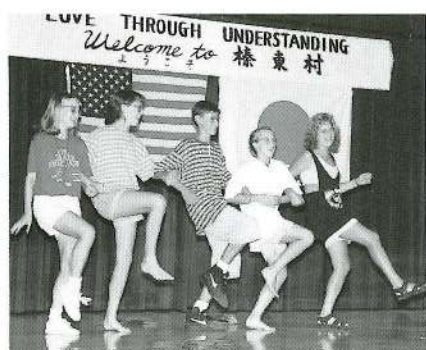
柳岡武夫さんの指導で作った竹の花差し。お土産ができたゲストも喜んでいました
▼皆さん、奇岩めぐりでくたびれて良く寝られたことでしょう



酸っぱいような名前を付け、妙な腰付きで面の練習に挑むクリスくん



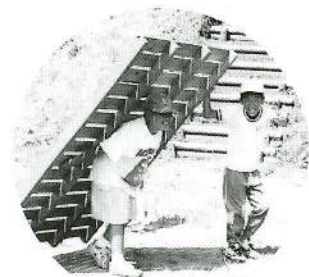
真剣を使った居合の組手。雷で下で落ちた演技が披露されました



会場の片隅で色紙を使って交流を図る皆さん。完成した折り鶴のレイはゲストたちのお土産になりました



歌いながらダンスを踊るゲストの子どもたち。皆さん表情が明るいです



子ども育成会キャンプⅣ 創造の森

自然の中で楽しく学ぶ

夕間に遠く映えた街明かりを望む創造の森多目的広場。その広場に集合した子どもたち「皆さんは、お父さんやお母さんという川にいる稚魚です。大人になるためには、その川を下りながらいろいろなことを学ばなければなりません。このキャンプをしながら皆さんは、将来役に立つさまざまなことを学ぶでしょう」と語る一区の竹内孝信さん（子ども育成会連絡協議会長）。竹内さんの話が終わるのを合図に点火されたキャンプファイヤーの炎は、創造の森の空を赤く染めていました。創造の森にある村営キャンプ場で八月三日から二日間、北小と南小の五、六年生百十人余りが参加して行われた子ども育成会主催のキャンプ。ことしのキャンプは、事前研修を代表の子どもたちにももらい本番に臨んだことから、テント張りから食事の準備まですべて子どもたちが中心となつて行われました。テント張りや料理の苦労、友だちとの交流、そして自然。お母さんやお父さんから離れ、キャンプを通じてさまざまな体験をした子どもたちを紹介しましょう。



▶竹内会長らがつくった豚の丸焼きは、がんばったちびっ子たちへのプレゼント



▲汗をかいたあとの麦茶がうまい

役員らが考えたキャンプファイヤーの点火は、口顔負けの演出でした



▲きれいな景色を見ながら食べたスイカの味はおいしかったかな



▲創造の森の林内歩道などを使ってオリエンテーリング

キャンプを体験して

—参加者の感想から—

家ではできない体験を

神田真奈美さん（18区 南小6年）
生まれて初めて流れ星を見ました。友だちと夜明けまでおしゃべりをするなど、家ではできないいろいろな体験もできました。自然と良い景色の中で、みんなと過ごしたのが楽しかった。



料理の味もそれなりに

小山枝里さん（9区 南小5年）
みんなと一緒に作業も楽しくできました。自分たちで作った料理も、すばらしい景色の中で食べたせいか、それなりにおいしく感じました。
キャンプして少し自信がついたような気がします。



来年も参加したい

森田 亮くん（6区 北小5年）
作業は大変でしたが、みんなと草の坂を段ボールで滑ったりして遊んだのが、とてもおもしろかった。料理はお母さんが作ったほうがうまいけど、来年のキャンプにもぜひ参加したい。



▶カレーの材料になる人参や玉ねぎの皮をむく子どもたち。みんな家でもやっているかな

▶子どもたちが歌ったり、怖い話を聞きながら過ごしたキャンプファイヤー。街からもこの明かりが見えたでしょうか



▶ラジオから流される軽快な音楽で、子どもたちも明るく作業に取り組んでいました



第7回村民ソフトボール大会 12区が2年連続優勝!

第7回村民ソフトボール大会が8月6日、総合グラウンドと榛中グラウンドで行われました。

昨年同様の暑さに見舞われたことしの大会に18チームが参加。冷えたスポーツドリンクでのどの渇きを潤しながら決勝戦へ勝ち進んだ4区と12区は、8対3で12区が4区を下し、2年

連続優勝を果たしました。3位は14区と15区。個人賞では12区の蜂巣昇さんが最優秀選手に、4区の樺沢功さんが敢闘賞にそれぞれ選ばれました。



アチャー、打ち上げちゃった。このあとは守備のエラーを期待するのみ

郡子ども会ソフトボール大会 1区あさひ子ども会が郡の頂点に

平成7年度の郡子どもソフトボール大会が8月20日、小野上村総合グラウンドで行われました。

5町村から6チームが参加したこの大会では、本村から出場した第1区あさひ子ども会が決勝戦まで勝ち進み小野上第3支部子供会と対戦。熱戦を繰り広げた結果9対8で見事優勝しました。



Vサインを出しながら勝利を喜び、1区あさひ子ども会のちびっ子たち

平成7年度高校生等球技大会 180人余りがプレーを楽しむ

8月20日、夏休み期間中の高校生等の健全育成をねらいとして、高校生等父兄連絡協議会（会長金井幸子さん12区）が主催する高校生等球技大会（ソフトバレー）が北小体育館で行われました。

高校生等180人余りが参加したこの大会。中学時代の懐かしい友だちと再会し、話に熱中する選手の姿も見受けられるなど、和やかな雰囲気なかで進められた試合の結果は次の通りです。【成績】①8区 ②5区 ③3区と14区



きれいなアタックを打ちたいけど、早くジャンプしすぎたかな?



逆説子育て論「わが子を非行化させる秘けつ20カ条」を説明する染谷園長

健全育成をテーマに 非行防止研究会
社会を明るくする運動の一環として、八月十八日、南部コミュニティセンターにおいて、村と保護司会および更生保護婦人会などの共催による「非行防止公開ケース研究会」が開催されました。この研究会では、淡川警察署の

八木生活安全課長から、最近における非行少年検挙補導状況が説明されたあと、「立ち直りつつある少年たち」―生き方を学ぶ教育―と題された榛名女子学園の染谷榮一園長による講演を聞き、全体で青少年の健全育成をテーマに討議し

たもの。
染谷園長による講演では、自らの矯正教育の体験に基づいてつくられた「わが子を非行化させる秘けつ20カ条」というユニークな逆説子育て論が紹介され、会場に訪れた約九十人の皆さんの注目を集めていました。

認定農業者第一号は岸昭勝さん
ことしから創設された認定農業者制度の第一号として、二区の岸昭勝さん（養豚業 五十一歳）が認定され、八月九日、村長より認定証が手渡されました。農業の将来目標の方向に沿いな

農業の活性化を図るため村では、今後も岸さんのように意欲ある農業者に対し、制度の利用を積極的に呼び掛けたいとします。認定農業者制度についての詳しいことは、役場産業経済課（☎五四―二二一 一内線四六八）までご連絡ください。



村長から認定書を受ける岸さん。村では岸さんに続く認定農業者をお待ちしています



ペタンクは、鉄の玉を使うゲームで子どもから大人まで楽しめます

軽スポーツ ペタンクを早朝から楽しむ

村の体育指導委員会では、生涯スポーツの普及振興と、区民間の交流などを図ろうと、夏休み期間中、行政区を単位とした「早起きスポーツスクール」を開催しました。一区、八区、十三区の三つの行

政区でそれぞれ行われたこのスクール。八区では八月六日、早朝から区民三十名余りが同区のゲートボール場に集まり、体育指導委員の指導を受けながらペタンクを楽

しんでいました。

日本で過ごした日々は一生忘れない思い出になることでしょう



ジェネシオの国際交流団体から銀製のポットが寄贈されました

友好の輪を広げる国際交流事業

広報七月号で紹介した国際交流事業により来村するゲストのうち、ボビー・スペクトさんが体の不調で来日できませんでしたが、ほかの六名は予定どおり八月三日から十六日まで間、日本文化や皆さんとの温かい交流を満喫し、無事帰国しました。

一方、本村の国際親善大使として訪米した一般村民四人は八月十日から、同じく中学生十人は十一日から、それぞれイリノイ州ジェネシオ町などでホームステイを行い、中学生が二十一日に、一般者が二十二日にそれぞれ交流の輪を広げて無事帰ってまいりました。米国イリノイ州ジェネシオ町から訪れたスクラントンさんはじめとする六人の一行は、三日夜榛東入りし、南部コミュニティセンターで行われた歓迎会に出席したのち、同席したホストファミリーと一緒に帰宅。日本でのホームステイは、スクラントンさんを除く

五人が初めてでしたが、それぞれのホストファミリーの案内によつて、近隣の名所などを見学したり、ショッピングを楽しんだりしながら、日本の生活習慣や文化にふれ、大変満足したのではないのでしょうか。

ホストファミリーをはじめとする関係者の皆さん、お盆中ご多忙のところをご協力いただきましてありがとうございます。また日米親善大使として渡米した十四人の皆さん大変ご苦労さまでした。



ふるさと館の広場で行われたスイカ割り。見事に割った人へのプレゼントはミニ鉄道の乗車券

公園の夏祭り思い出しづくり

八月十三日と十四日の二日間、ふるさと公園において、夏の恒例行事「ふるさと公園夏祭り95」が行われました。

祭りの期間中、公園に訪れた大勢の子どもたちは、ふるさと館の前でスイカ割りやヨーヨーすくいをしたり、豊かに成長した木々の

キャンパスは給食配送車 榛中美術部

給食センターから幼稚園、小・中学校の子どもたちへ給食を運ぶ配送車に、榛中美術部の皆さんが夏休みの期間を利用して、カラフルなイラストを描いてくれました。

配送車のボディに描かれたイラストは、カラオケをする野菜やかわいい動物たちなどで美術部員の皆さんが考えたもの。作業は七区で看板車を営む堀内

下を流れる小川で金魚のつかみどりなどをしながら、楽しい夏休みの思い出をつくっていました。祭りの期間中、お手伝いいただいたふるさと公園運営委員の皆さんご苦労さまでした。



キャンパスの前で記念撮影。暑い中、ご苦労さまでした

10月1日より代替バス運行

箕郷と渋川駅を結び、学生や通勤者の足として活躍してきた路線バス。箕郷〜渋川線。この路線を五十一一年間にわたって支え続けた群馬バス（株）では、自家用車の普及によるバス利用者の減少や運転士不足などといった事情から、九月末日をもって、その運行に終止符をうつことになりました。十月一日からは、箕郷〜渋川線沿線の渋川市、吉岡町、榛東村、箕郷町で結んだ協定書に基づいて、群北（ぐんほく）自動車交通株式会社が代替バスを運行します。このコーナーでは、十月一日からスタートする箕郷〜渋川線の代替バスについて紹介します。

事業主体

十月一日から運行する代替バスの事業主体は、箕郷〜渋川線沿線の渋川市、吉岡町、榛東村、箕郷町です。この四つの市町村間で締結した協定書に定められた負担割合で、それぞれの市町村が代替バスの運営にかかる経費などを負担するというものです。

村から委託を受けて、従来からあった箕郷〜渋川線に代替バスを運行します。このためこの路線のバス利用者が増えれば増えるほど、四市町村の負担は減少します。ぜひ皆さん、バスを利用しましょう。

運行区間

延長一五・五キロの運行区間は左記の通り、いままでと同じで停留所の位置も変わりません。

停留所一覧図

- 箕郷営業所
- 箕郷本町
- 連雀町
- 小学校前
- 城山入口
- 東明屋
- 竜門寺
- 矢原
- 柏木沢青山前
- 柏木沢農協前
- 広馬場
- 中の前
- 八ノ海道
- 大川
- 南新井
- 八幡橋
- 榛東村役場前
- 倉沼戸
- 三ツ家
- 長岡公会堂
- 長岡
- 上野田四ツ角
- 蟹沢橋
- 小倉産泰神社
- 小倉十字路
- 南有馬
- 有馬
- 総合グラウンド前
- 行幸田
- 石原
- 市役所入口
- 長塚町
- 渋川四ツ角
- 渋川新町
- 渋川駅

運行回数と時刻

運行回数は、いままでと同じ一日六回です。

運行時刻については、下の表に示す通りで、いままでとほとんど変わりませんが、全体的にJRなどとの接続を考慮した運行時刻となっています。

また、代替バスは、時刻表の通り年間休まず運行され、日祭日および学校の休業日などによる運休はありません。

定期券

箕郷〜渋川線の定期券については、群北自動車交通が発行する定期券をご利用ください。

箕郷〜渋川線の定期券は、群北自動車交通の本社営業所（渋川駅前）、または群馬バスの箕郷営業所で販売します（案内図参照）。料金は従来と同じです。

なお、群馬バス側の発行した箕郷〜渋川線の定期券で、十月一日以降まで使用期限があるものは、その期限まで引き続き使うことができます。

回数券

箕郷〜渋川線の数券については、群北自動車交通で発行した回数券をご利用ください。

回数券は、代替バスの車内や群北自動車交通の本社営業所、および群馬バスの箕郷営業所でも販売

箕郷〜渋川線時刻表 (H7. 10. 1~)

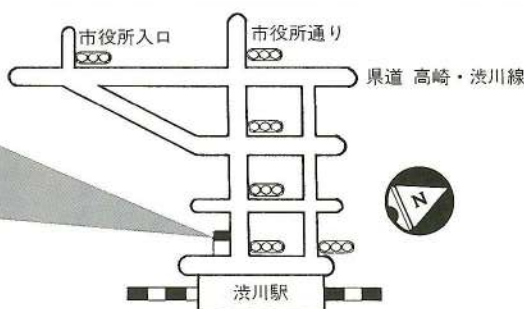
箕郷発	渋川駅着	渋川駅発	箕郷着
7:25	7:55	8:10	8:40
9:00	9:30	10:00	10:30
12:50	13:20	13:40	14:10
15:20	15:50	16:10	16:40
17:00	17:30	17:50	18:20
18:40	19:10	19:30	20:00

★上記の時刻は予定時間です。ラッシュ時、曜日等により多少の誤差が生じますのでご了承ください。

車両

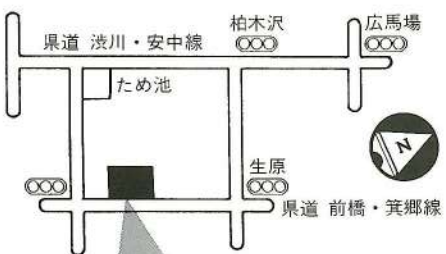
箕郷〜渋川線を運行する代替バスは、前・中扉の四十一人乗り。運行に使う車両は一台で、冷暖房付き、独自のカラーリングが施されています。

群北自動車交通本社営業所案内図



群北自動車交通本社営業所(2階部分)
☎22-2247

群馬バス箕郷営業所案内図



群馬バス箕郷営業所
☎0273-71-3553

運賃

なお、この車両が車検などで、使えない場合は、代車を用意して利用者に不都合がないように対処します。

運賃表

(単位: 円)
小学生以下は表の半額
(10円未満は切り上げ)

										箕郷営業所
										連雀町
										150
										竜門寺
										150
										150
										220
										240
										270
										280
										310
										340
										370
										410
										450
										470
										510
										540
										570
										590
										610



ベージュ色のボディーにピンクのストライプが入った代替バスを愛用ください(完成予定のイラストから)

ふれあい館 交通弱者を対象に送迎開始

9月20日

ふれあい館では、九月二十日からワゴン車（十人乗り）二台を利用して、交通弱者である高齢者お

■対象地域：榛東村全域
■運行日時：土、日、祭日を除く午前11時から午後3時まで

■申込人数：最低5人以上
■申込方法：希望される来館日前までにふれあい館事務局（☎五四一―一二六）へ、電話などで予約してください。

10月1日 全国一斉に国勢調査が行われます

十月一日現在で、平成七年国勢調査が全国一斉に行われます。国勢調査は、大正九年（一九二〇年）から五年ごとに行われており、今回の調査は十六回目にあたるものです。

この調査は、赤ちゃんはもちろん、日本に住んでいるすべての方が対象です。調査の結果は統計としてまとめられ、二十一世紀に向けた各種の計画や福祉対策、住宅対策や防災対策など、国や都道府県、市区町村の行政の重要な基礎資料となります。



国勢調査
ありのまま あなたの答えが 国の基礎

九月下旬から調査員が各世帯にお伺いして、調査票と調査票の記入の仕方を配布し、記入をお願い入の仕方を配布し、記入をお願いします。その後、再度訪問して調査票を集めます。

調査員をはじめ調査関係者が、調査票の内容をほかに漏らしたりすることはありません。また調査票に記入された内容は、統計を作る目的以外に使用されることはありません。

国民健康保険の保険証が 10月1日 から変わります

国民健康保険の保険証が十月一日から変わり、現在使われている保険証は使用できなくなります。十月一日から医療機関など窓口

を受けるときは、十月に入りましたら新しい保険証を医療機関などの窓口へ提示してください。なお新しい保険証は、区長さん

男性の方へ前立腺検診のご案内

前立腺は男性特有の臓器です。五十歳を過ぎるころから、前立腺肥大症や前立腺がんが発生しやすくなり、年をとるにつれてこれらは増加してきます。

■場所：農民研修館
■費用：無料（全額千九百円は村で補助します）
■検査内容：血液検査、超音波検査、触診（肛門から）

肝臓は「沈黙の臓器」とも呼ばれ、少々具合が悪くても弱音をなかなかいえない臓器です。肝臓の病気を早期に見つけるためには、定期的に検査を受けることが大切です。村でも次の通り検査を実施しますので、ぜひ皆さんも受診してください。

■申し込み方法：検査を希望される方は10月6日までに役場保健年金課（☎五四一―二二一内線四二四）へお申し込みください。受付時間などは後日連絡します。

村でも次の通り前立腺検診を実施しますので、「小便が出にくい」「トイレが近い」などの症状がある方に受診をおすすめします。
■日時：9月29日（金）

■日時：10月24日（火）、25日（水）

国民年金のお話 老齢基礎年金について

老齢基礎年金を受けるための保険料納付済期間が不足する方は、七十歳まで任意加入することができ

この期間が不足する方や、年金額を増やしたい方は、六十歳以降六十五歳までの間、国民年金に任意加入して期間を満たすことができますが、それでも期間を満たせない方には、これまで救済の余地がありませんでした。

そこで昨年の法改正により、昭和三十年四月一日以前に生まれた方に限り、七十歳を限度として老齢基礎年金を受けられる期間を満たせるまで国民年金に任意加入できることになりました。

「年金は受けられない」とあきらめていた方は、この機会にあと何カ月期間が足りないのかを確認のうえ、加入されるようお勧めします。詳しくは役場保健年金課国民年金係（☎五四一―二二一内線四二六）までおたずねください。

耳飾り館 第2回企画展「古墳時代の榛東村」を開催

開館して三年目を迎える耳飾り館では、第二回企画展「古墳時代の榛東村」を十月一日から十一月二十六日まで開催します。

高塚古墳や雛子古墳、長久保古墳などから出土した武人埴輪をはじめ、鉄製の太刀（たち）や須恵（すえ）器など約四十点を展示し、古墳時代の人々の生活ぶりを紹介す

るもの。皆さんも、私たちの郷土から出土されたさまざまな遺物を、この企画展でご覧になり、郷土の古墳時代を思い浮べてみませんか。

また十月二十二日には、この企画展にあわせて、群馬大学教育学部の梅澤重昭教授による講演会を農民研修館で開催する予定です。



群馬大学から一時帰郷する武人目埴輪（はにわ）を、皆さんか

南小バザー 皆さんのご来場を待ってます 9月24日

南小のPTAおよび後援会などでは、皆さん（南小区域）のご家庭で眠っている品物を集めて希望者に販売し、そこで調達した資金を吹奏楽部や運動部の活性化に役立てようと、次の通り「バザー」を開催します。

■日時：9月24日（日）午前10時～午後5時
■会場：南小体育館
■その他：9月18日頃から南小区域（9区、13区、19区、21区）の

各世帯に、役員が品物を集めにお伺いしますのでご協力をお願いします。特に不用となった中学校制服の処分にお悩みの方は、ぜひご協力ください。

北小 わくわくフェスティバルのご案内 10月14日

北小PTAでは、子どもたちが学校に集い、日ごろ学校では体験することのできないさまざまな催物にふれることにより、地域や家庭の大切さを知ってもらおうと「わくわくフェスティバル」を次の通

り開催します。会場内には各種の模擬店も並びますので、ぜひ皆さんも隣近所お誘いのうえお出かけください。
■日時：10月14日（土）午前10時～午後5時
■会場：北小学校体育館・校庭・

わくわく広場ほか
■内容：バザー、北小先生方による音楽会、かかし展示、マスのつかみどり、知恵の輪・竹とんぼづくり・輪投げ大会、一輪車や竹馬を使った遊びなど

食欲の秋はふるさと公園で 9月24日 「和牛焼肉フェア」を開催

ふるさと公園では、村内で多く生産されている和牛を、皆さんに安く味わっていただくようと、レストガーデン四阿（あずまや）を利用して「和牛焼肉フェア」を次の通り開催します。皆さんもこのフェアで食欲の秋を満喫してください。

■開催日：9月24日（日）
■場所：レストガーデン四阿
■値段：和牛五〇〇グラム（三人前位）千七百円、和牛一キロ（五～六人前位）三千二百円
※それぞれ肉のみの値段で、野菜やライスは別途ご注文を承ります。

便秘と大腸がん

大腸がんは、欧米に多いがんといわれていましたが、近年、わが国においても増加の一途をたどっています。村でも大腸がんは、がん死の第三位となっています。大腸がんが増えている原因としては、日本人の食生活の欧米化、つまり動物性脂肪の摂取量の増加と食物繊維の減少があげられます。したがって腸に脂肪をためず、便秘を防ぐことで大腸がんの発生をおさえることができます。

●野菜を十分に

ビタミンA、Cなどは発がん作用を抑制する働きがあります。

●牛乳など、水分をたっぷりとる

体内の水分が減ると腸内の便は固くなり、便秘しやすくなります。

●便秘がなくても、毎朝トイレタイムをとる

●便意をがまんしない

●体を動かして、腸の働きを活性化にする。

運動不足は、内臓の働きも悪くします。

食物繊維を多く含むイモ、



大腸がん検診のお知らせ

大腸がんの早期発見には、肉眼では見えない少量の出血でも発見できる便潜血反応検査が効

こんな症状が あったら“要注意”



- 便が細くなってきた
- 便がコロコロしている



- 下痢と便秘を繰り返す
- 何度もトイレに行く
- 残便感がある



- 肛門から出血する、便に血が混じる

おめでとう

おくやみ

○お誕生おめでとうございます

※カッコ内は保護者の名前

女の子

8区 山口 真理菜ちゃん

(隆宏さん) 6月26日生

12区 井上 紗矢香ちゃん

(英人さん) 6月30日生

9区 木暮 沙彩ちゃん

(博幸さん) 7月1日生

21区 小林 史佳ちゃん

(義秀さん) 7月3日生

6区 阿久澤 奈々美ちゃん

(金由さん) 7月8日生

9区 小島 優奈ちゃん

(健志さん) 7月14日生

16区 小池 美貴子ちゃん

(政男さん) 7月14日生

21区 毛塚 愛羅ちゃん

(和明さん) 7月15日生

16区 石坂 早ちゃん

(二三雄さん) 7月19日生

13区 新井 拓弥ちゃん

(則彦さん) 6月27日生

20区 平方 光ちゃん

(正一さん) 7月2日生

3区 檜原 星斗ちゃん

(孝夫さん) 7月7日生

16区 宿原 崇志ちゃん

(良男さん) 7月9日生

人口と世帯

(8月1日現在)

総人口	12,768人 (±0)
男	6,577人 (+1)
女	6,191人 (-1)
世帯数	3,868戸 (±0)

()は対前月

村内の交通事故

(8月末日現在の累計)

事故件数	35件 (-3)
死者	0人 (±0)
傷者	43人 (-8)

※()は前年同期対比

シートベルトは 必ずしましょう

●おくやみ申し上げます

4区 柳岡 榛一さん 83歳

9区 浅見 林司さん 79歳

9区 高橋 切人さん 8歳

10区 岡部 ノブさん 99歳

13区 一倉甲子壽さん 71歳

20区 吉田 義一さん 62歳

(この欄に掲載を希望しない場合は、届け出のとき窓口までその旨お話しください)

こ ち ら 編 集 室 で す

外から銀色をしたダクトが無数に接続された体育館。中体連剣道全国大会の会場となった前橋市民体育館は、仮設で冷房が効いていました。S.F.じみた銀色のダクトは冷気を会場内に送るもので、屋外装置からは、轟音とともに熱風を吹き出していました。▼全国大会になるとセッともすごいと感心しましたが、「いま、全国レベルの大会は冷暖房付きの施設で行われるのが一般的ですね」と、関係者から聞いたので驚きました。仮設で補えるなら、その方が効率的と思うのは私だけでしょうか。(繁)

わが家のアイドル



9区 荒木 愛菜ちゃん

(信一・清美さんの長女 1歳)

「すなおでやさしい女の子に育ってほしいですね」

わが家のアイドル募集中!